

- 団体名:NPO法人 会津の文化づくり
- 所在地:福島県会津若松市金川町15番20号
- TEL:090-4555-7347
- E-mail:K9m1y@yahoo.co.jp

以下は11月28日(火)会津会場でのプレゼン資料です

NPO法人会津の文化づくり

理事長・築田直幸



●設立のきっかけ

「会津ものしり検定」をはじめた

●団体の目的

- 会津流域の文化の構築に努める。
- 古代・中世・近世の会津の歴史をわかりやすく紹介し、明日のくらしに役立てる。
- 次世代の人々に会津の価値を伝える。



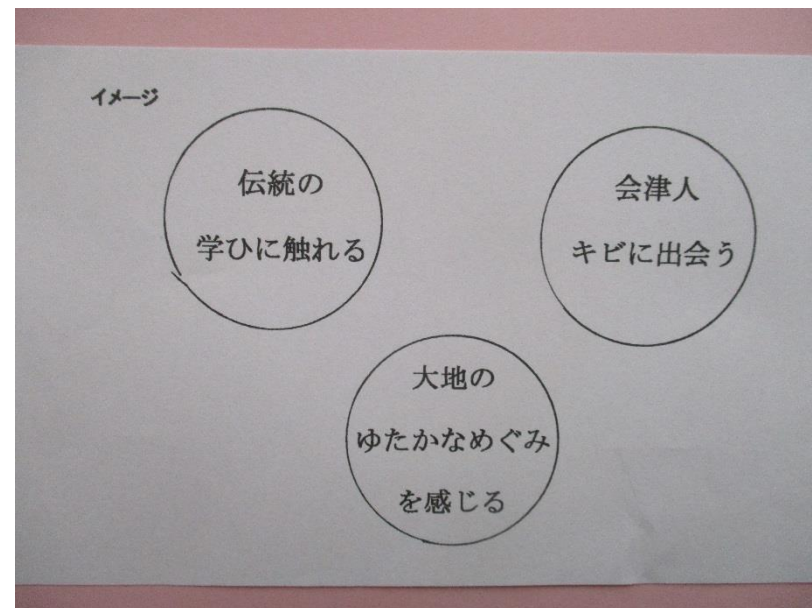
私たちの思い、考え

▶地域の課題

- まちがって伝えられている会津の姿
- まちがって受け止めて、どうしようもないと思っている会津人が多い
- 地域・個人格差が多く、仕事も趣味もなく暮している



●目指す地域の姿



地域、住民、ボランティア、 参加者の反応や変化

- 各団体の活動で精いっぱい取り組み
- 連携よりは組織の整備に関心な現状
- ひとつやりあげて自己満足の達成度
- アイデア・資金、人材もいない



活動紹介



報 2017年（平成29年）9月7日（木曜日）

会津藩の武士道 考える

若松で記念講演会

明治大教授 落合弘樹さん語る

戊辰150年

会津若松市民有志らでつくる会津戊辰戦争百五十年事業実行委員会の記念講演会「戊辰と明治」は五日、市内の會津藩古堂で開かれた。

明治大文学部教授、雄さんを特別ゲストに明治維新史学会事務局 招き、会津大短期大学長の落合弘樹さんが講師を務め「明治維新と武士道に背きまじきこと」と題して講演した。落合さんは幕末の武士の自分を自覚・再生する動きの中で会津藩が果たした役割について語った。

講演後、新潟県長岡市の河井継之助記念館長で郷土史家の稲川明宣言をまとめた。

会津藩が果たした役割などについて意見を交わす（左から）築田さん、落合さん、稲川さん

明治大文学部教授、雄さんを特別ゲストに明治維新史学会事務局 招き、会津大短期大学部の非常勤講師の築田直幸さんがコーディネーターを務め、落合さんと三人で戊辰戦争とその後の明治時代の会津についてパネルディスカッションで意見を交わした。

戊辰戦争で義を貫いた会津の武士たちの武士道を誇りとする戊辰

協働に向けて

活動・組織での悩み
困っていること

- 既存（行政・常識）の存在が、NPO法人などの民間の活動を妨げ、競争相手になり、手助けにはなっていない。
- 人件費を生むことが困難で、二足のわらじでやっている。

企業と協働したいこと
サポートしてほしいこと

- 10年の経験と積み重ね、ネットワークがある。
- 大きく一步踏み出す組織の体力を支援していただきたい。
- 初期3か年の活動を。

企業に向けてメッセージ

- 戊辰戦争遺産プロジェクトを平成30年4月より立ち上げる。その初期体力の支援をしていただきたい。
- 美しき会津の姿を再発進するための150年ぶりの会津の復興にむけて。